



エコポスト

小田原市の環境を考えるための情報誌

vol. 76

第55回 北條五代まつり「美化キャンペーン活動」開催

小田原市最大の観光イベント「北條五代まつり」が第55回を迎えました。本協会では5月3日（金・祝）に中・高校生を交え、約1時間の清掃活動を行いました。皆様の協力のおかげで、たくさんのごみを収集することが出来ました。

参加いただいた旭丘高校の生徒から感想文をいただきましたので、ご紹介します。

清掃ボランティアについて

私は、5月3日に行われた清掃ボランティアに参加しました。そこで感じたことは大きく分けて二つありました。

まず一つ目は、小田原の環境が良いということです。3コースに分かれた中で私が参加したのは、小田原城近辺を回るコースでした。小田原城近辺はほとんどごみが落ちておらず、落ちていたごみは飴の袋や吸い殻入れから落ちてしまったタバコ1～2本程度だったのを見て、小田原は観光地にもかかわらず、とても環境が整備されているという印象を受けました。

二つ目は、地域の方たちと交流を図ることができたということです。

今年から清掃に加え、挨拶運動を行ったことによって、清掃中も「お疲れ様」などの声をかけて頂き、とてもやりがいのあるボランティアとなりました。

最後に、私はこのボランティアに参加し、普段から通っている小田原の環境を知れたり、地域の方と交流を図ることができてよかったと思います。
(旭丘高校2年 廣門 希美果さん)



北條五代まつり美化キャンペーン活動に参加して

5月3日は、朝から最高の天気にも恵まれ、子ども、小中高生、地域の皆さんに参加していただき清掃活動を行いました。参加者が、パレードコースを3コースに分かれ、本協会の旗を先頭に、ごみ袋、ごみばさみを持っていかれる後姿を見ていると、本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。

先日テレビで、プラスチック日用品が、川や海に多く流れてしまっていることが問題になっているようです。そのため、木材でスプーンやストローを作ったりしている企業もあるそうです。小田原市でも何かできることはないかと考えていたところに参加者が帰ってきました。「今日のごみが少なかった。」と多くの方が仰っていましたが、「楽しかったので、来年も参加します。」とってくれたので、とても良かったと思います。

これからも皆さんと一緒に、みどり多き城下町小田原市にしていきたいと強く思いました。

参加された方におかれましては、今後もお身体に気をつけて頑張ってください。本当にご苦労様でした。

(小田原市環境ボランティア協会 富田 蓉子)

第46回 山王川・久野川一斉清掃に参加しました！

6月1日（土）曇りの気候の中、第46回山王川・久野川一斉清掃が開催されました。

流域5地区（足柄・芦子・二川・久野・山王網一色）と神奈川県、市、企業、旭丘高等学校・ボランティアにより、500人以上の方々の協力により、9時に八幡神社内で開会式に会長の挨拶の後、小田原市の加藤市長始め、県小田原土木副所長ほか数人の挨拶をいただきました。

平成22年から、刈り取った草は堆肥として肥料にし、芦子小学校で利用しているとのこと。

清掃活動の目的は「清掃活動を通じ、地域の閑居は地域の住民等が積極的に守るという意識の定着を推進するとともに、良好な自然環境の保全と環境美化意識の高揚を図る」。

この素晴らしい目的を持って46年間続けていることは素晴らしいことです。

長年の努力の成果が色々な方面に波及することを願っています。

（小田原市環境ボランティア協会 西島 摩瑛頭）



東海道五十三次クリーン作戦に参加して！

小田原は江戸と京を結ぶ東海道の宿場町として栄え、まちの衛生環境は清潔で快適だったそうです。その小田原のまちと自然環境を守り育てるため、小田原市環境ボランティア協会はこの活動に賛同し、美化清掃を行いました。



毎年恒例の東海道五十三次クリーン作戦を6月16日（日）の8時30分から10時まで、参加者10名で行いました。清掃場所は板橋から山王橋まで。

「ご苦労様です。」「きれいにしてくれてありがとう。」「などと、通行人の方々から声を掛けられ、「ありがとうございます。」と言葉を返し、少しの間、地域の様子などについて会話をしました。

「この通りはいつもきれいにしておられますね。ごみなどほとんどありませんね。お花もきれいに可愛らしく咲かせて、通行人の心も癒されますね。」という「私たちは皆が思い思いに好きなように花を植えて草をむしっているだけですよ。」とのこと。

植え替え、水やり、草刈り、花柄とり、心なくしてできることではありません。通り全体を美しくすることは地域住民の意識が高くてはできないことです。きっと自治会活動が盛んな地域なのだろうと思われました。

年々、徐々に街がきれいになっていくのを感じます。私たちの地道な活動をこれからも継続していきたいと思いました。

（小田原市環境ボランティア協会 西島 佑里子）

令和元年度 小田原市環境ボランティア協会総会開催

5月27日(月)、市役所3階301会議室にて、会員8名の出席並びに委任状を45名分いただき、合計53名に達し、会員数の3分の1以上になり、総会を開催することが出来ました。

また、小田原市環境政策課より齊藤課長はじめ職員3名にご出席いただきました。ありがとうございました。

本協会は平成8年6月28日に発足し、23年が経過しました。

人は環境の子なり、誰でも育つ、育て方が大切です。家庭環境・地域の環境・職場の環境・社会環境・自然環境など、良い環境を目指し、一步一步前進することが大切です。皆さんと一緒に小田原のより良い環境を目指し、実践してきました。

更に皆さんと共に一步一步努力し、前進していきます。

(小田原市環境ボランティア協会 浜野 昌平)



どうしてですか？ 自身のごみ減量！

ごみを燃やしても思っているほど減らないことに気づいている人は多いようです。

市の環境事業センターには、毎日のように市民などから1人当たり約1kgのごみが運び込まれています。自身としてはそんなに出していないと思うものの、もう何十年も続いている現象で、他の市町村も同じ傾向にあります。

ところで、ごみの燃えカス量は、そこで燃やした量の10分の1にしかならないのが一般的で、減少率がとても低く、私たちは一年で100gの365倍である36.5kgの燃えカスを生じさせているのです。

どうしてもプラスチックを完全燃焼させる装置は割高になり、どこの行政も採用していない現状です。物質不減の法則から眺めると、焼却後の残りカスが少ないことは空気中を汚くしているので、痛し痒しです。

文化的な生活の中にあっても、私は燃せるごみを極力少なくすることを考えながら暮らしたいと思っています。

(小田原市環境ボランティア協会 高松 民吉)

思い出に残るボランティア...

おだわら市民交流センターUMECOから、高校生の卒業前最後のボランティア活動として「落書消し」を是非やりたい、との要請を受け、3月24日(日)上府中公園に9時に集合していただき、高校生男子3名、女子3名、UMECOから1名、市環境保護課1名、会員3名の総勢11名が参加しました。

当日は晴天に恵まれ、曾我岸交差点手前の右側道路沿いにある許可を得た農家のコンテナに書かれた落書きを消した後、きれいにするために塗料を塗り、素晴らしいきれいなコンテナになり、1時間30分で終了しました。

卒業する高校生たち一同は、一生に残る思い出となったようで、各自将来に向かって頑張っていたきたいと思います。

(小田原市環境ボランティア協会 植田 聡)

かんきょう伝言板

***** イベントご案内 *****

◇環境美化促進重点地区啓発キャンペーン

小田原駅を中心とした環境美化促進重点地区の清掃活動を行いながら、きれいな街、良好な生活環境をつくる啓発キャンペーンを行います。

【日時】 7月18日 ※9:00~10:30
 8月1日 ※9:00~10:30
 9月5日
 10月3日・17日
 11月7日・21日
 12月5日

※9月~12月は木曜日の13:30~15:00(雨天中止)

【集合場所】 小田原駅西口駅前ロータリー (北条早雲公像前)

【集合時間】 13:20

【持ち物】 軍手

【主催】 小田原市環境ボランティア協会

【連絡】 西島 (23-3740)



◇落書き消しのボランティアを募集します!

小田原市内において、12年前から落書き消しの活動をボランティアで実施しています。活動を開始してから、徐々に落書きの数も減ってきてはいますが、まだ歩道橋やガードレールなど目に付くところに落書きがされています。

そこで毎月の活動(不定期)に、ぜひご参加いただける方を募集します。みんなの手で小田原のまちを落書きが一つもない綺麗なまちにすることを目標に活動してみませんか。

実施日や活動の内容等につきましては、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【持ち物】 汚れてもよい服装・軍手

【連絡】 環境ボランティア協会
 西島 (23-3740)

【今年7月までの実績】 市内全域13,880箇所



***** 小田原市からのご案内 *****

◇食品ロス削減のため「おいしく残さず食べきろう!」

食べられるのに捨てられてしまう食べ物「食品ロス」が全国で年間約646万トンも発生しています。

夏休みやお盆になれば、家族や親戚集まっの食事が増えることと思います。ご家庭でもできることを実践することで食品ロス削減へぜひご協力ください。

【家庭編】

・計画的な買い物

安いからなどの理由で必要以上に食材を買いこむと、使い切れないことがあるため、特に、傷みやすい食材は、計画的な買い物をすることを心掛けましょう。

・冷蔵庫・家庭内の在庫管理

普段からこまめに家庭内の食品の在庫や消費期限・賞味期限を確認しましょう。

・使い切り

野菜の皮や茎も料理に取り入れるなど、食べられる部分は使い切り、結果、食材の栄養も余すことなくとれます。

・食べきり

食べ残しを減らすために、料理は食べられる量だけ作り、余った料理はアレンジしたり、小分けにして冷凍庫で保存するなど、食べきる工夫をしましょう。

【外食編】

・注文時：適量注文

食べられる量だけ注文し、必要に応じて小盛りメニューを選ぶなど、注文段階で工夫をしましょう。

・料理が余ったら：みんなで分け合おう

食べきれない料理はみんなで分け合ひましょう。

【担当】

小田原市環境政策課ごみ減量推進係 (33-1471)

◇生ごみ堆肥化推進事業 新規参加者募集

市内在住の方で、ご家庭で段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化に取り組める方を募集します。無料で一式配布します。(現在既に実施している方には交換基材を有料にてお渡しできます。) 詳細については、下記までお問い合わせください。

【連絡】

小田原市環境政策課ごみ減量推進係 (33-1471)

小田原(いき)ごみクラブ代表 浜野 (090-5781-0788)

◎エコポストの制作(写真や絵画、広告制作等)にご協力いただける方を募集しています。ご興味がある方はぜひお問合せください。

また、イベントや活動紹介などの掲載をご希望の方は、事務局(33-1472)までご連絡ください。(常時原稿募集中)

【発行日】 2019年7月20日

【発行責任者】 小田原市環境ボランティア協会 会長 西島摩瑛頭

【事務局】 小田原市環境部環境政策課